

津久見市教育委員会
会 議 議 案

令和 6 年 2 月 28 日

津久見市教育委員会

津久見市教育委員会議事日程

1 会 期 令和6年2月28日(水) 午後2時00分から

2 議事日程

(1) 開 会

(2) 議 案

議案第28号 津久見市学校給食費負担軽減等補助金交付要綱の
改正について ……3

議案第29号 令和5年度当初予算案の概要について ……4

(3) 報 告

① 1、2月の行事報告について ……7

② 2、3月の主な行事予定について ……9

(4) その他

① 次回の委員会開催日程について ……9

(4) 閉 会

議案第 28 号 津久見市学校給食費負担軽減等補助金交付要綱の改正について

【改正理由】

物価高騰による給食費の値上げを防ぎ保護者負担を軽減させるため、令和 4 年 7 月から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費負担軽減等を行っている。

令和 5 年度においても引き続き学校給食費等の保護者負担軽減を図るため、各保護者から徴収する学校給食費の月額を補助することにより、学校給食費の保護者負担軽減を図ってきた。

しかし、令和 5 年度においては食材費等の高騰が続き、現行の補助では津久見市学校給食の運営ができない状況となっていることから、引き続き保護者の負担軽減を図るため、津久見市学校給食費負担軽減等補助金交付要綱の一部改正を行いたい。

【改正内容】

補助金額の負担率を「1割」から「2割以内」への変更のため第 5 条を改正

津久見市学校給食費負担軽減等補助金交付要綱の一部を改正する要綱

津久見市学校給食費負担軽減等補助金交付要綱(令和 4 年告示甲第 18 号の 5)の一部を次のように改正する。

第 5 条第 2 項中「1割」を「2割以内」に改める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

新旧対照表

○津久見市学校給食費負担軽減等補助金交付要綱

新	旧
(補助金額等) 第 5 条 (略)	(補助金額等) 第 5 条 (略)
2 補助金の額は、補助対象額に各月の児童又は生徒(以下「児童等」という。)の数を乗じて得た額の <u>2割以内</u> とする。	2 補助金の額は、補助対象額に各月の児童又は生徒(以下「児童等」という。)の数を乗じて得た額の <u>1割</u> とする。
3 (略)	3 (略)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 21 条第 1 項第 11 号並びに津久見市教育委員会の権限に属する事務の委任及び決裁等に関する規則(昭和 62 年教育委員会規則第 4 号)第 2 条第 2 項第 7 号により議決を求める。

令和 6 年 2 月 28 日

津久見市教育委員会
教育長 後藤 榮 一

【管理課】

(学校施設整備事業)

学校施設については、児童生徒が日々、安全・安心に学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備を進めています。その中で、各学校施設については老朽化が進み、修繕の必要な箇所が多くなってきていることから、緊急度や補助等を活用しながら限られた予算内で修繕等を行なっています。中学校校舎改修完了に伴い、今後は学校施設長寿命化計画に沿って小学校校舎改修を順次進めていく予定です。令和 6 年度は、千怒小学校校舎を長寿命化改修するための設計費用を計上しています。

(中学校統合事業)

令和 5 年 1 月から始まった、津久見中学校開校に伴う現第一中学校の校舎改修工事が、まもなく完了を迎えます。

令和 6 年度は、統合後に廃校となる第二中学校プールの解体費用のほか、第二中学校校区から津久見中学校に遠距離通学する生徒のタクシー輸送経費を計上しています。

(ICT 教育環境整備事業)

児童・生徒 1 人 1 台タブレットが導入されて 3 年が経過し、授業や家庭学習での活用が進んでいます。令和 6 年度も引き続き GIGA スクール構想実現のための ICT テクニカルサポーターを配置し、1 人 1 台タブレットを活用した学習習慣の定着・学力向上につなげていきます。

【学校教育課】

学校教育課は令和 5 年度学校教育指導方針の中で、「ふるさとを愛し、自ら学ぶ意欲と活力に満ちた津久見っ子の育成」をうたい、学校教育振興事業、学力・地域教育力向上支援事業、保健体育事業及び学校給食事業等に全力を挙げて取り組んでいる。GIGA スクール構想を受けて、1 人 1 台タブレットを活用して、20 年先を見据えた新たなデジタル対応の教育施策・事業を発展させていく必要がある。予測困難で変化にとんだ時代に柔軟に対応し、力強く生き抜く児童・生徒を育成するために、次世代に必要な資質・能力を明確にし、知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力等をバランスよく育成していくことが重要となる。令和 6 年度は、アフターコロナや不安定な情勢での物価上昇が予想されるなか、これまでの各種事業をさらに発展・深化させていくことで、未知なる時代を迎える今、下記の事業を重点的に取り組んでいきたいと考えている。

(学校教育振興事業等)

学力向上については、学校教育指導方針と学力向上アクションプランに基づき、児童生徒の学力の定着及び向上を目指す上で必要な予算を計上し、弱点克服と低学力層の底上げの取組をより一層強化していきたいと考えている。特に①津久見市学力テスト(小1～中2)により個々のつまづきをチェックし、具体的な指導・支援の計画を立て、学び残しのない取組を強化する。②学びの基盤となる学級集団づくりについては、的確な集団分析調査(hyper-QU)を行い要支援児童・生徒を把握するとともに、「短時間で取り組む人間関係づくりプログラム」に取り組み、生活面でも支えあうことのできる集団づくりを充実させる。③ALTを小中に配置することにより、小学校新学習指導要領の完全実施にともなう外国語活動ならびに英語指導を強化・充実させる。④デジタルドリルやデジタル教科書を導入することにより、個に応じた指導や自ら考えて学びを深める活動に役立て、基礎基本の定着並びに思考力・判断力・表現力の育成を目指す。

また、教育振興については、教育支援センター指導員及びスクールソーシャルワーカーの設置、小中学校への特別支援員の配置及び特別支援教育相談員の派遣、児童生徒に対する学習保障と教職員の働き方改革の両立を図るため、学習指導員・スクールサポートスタッフの配置、要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金等について、継続的な事業効果を目指して予算を計上している。

(保健体育事業)

保健体育事業は、学校保健安全法に基づきながら、児童生徒並びに教職員の健康管理及び保持増進を目的に各種検査等を実施することで、学校保健安全の充実を図る。さらに市内中学生の体育・スポーツの振興を目的として開催される各種大会に対して補助を行っていく。さらに、令和6年度においても中学校部活動指導員活動事業費補助金を利用し、部活動指導員3名を配置し、学校教育活動の一層の充実及び教員の「働き方改革」の実現を図る。また、平成27年度から実施しているフッ化物洗口事業にも必要な予算を計上している。今後は中学校部活動の地域移行を受け、地域の指導者の人材確保や予算の計上など、地域移行実現に向けて取組を進めていきたい。

(学校給食事業)

経済的理由によって就学困難な児童の保護者に学校給食に係る費用の一部を援助する。学校給食共同調理場については平成25年4月から本格稼働しているが、従来からの自校の給食施設とともに、安全で安心な給食を児童生徒に提供するため、施設の維持管理等に必要な予算を計上している。一方、自校方式の調理場は老朽化が進むとともに、調理員が安心・安全に作業する職場環境に様々な課題が生じていることから、堅徳小、青江小については、令和6年7月まで学校給食衛生管理基準に見合った施設設備並びに職場環境の保全が図られるよう必要な修繕等を行う。

令和6年度に新設中学校が開校し、同年の8月下旬から堅徳小、青江小へ共同調理場からの給食配送を行うことを計画していることから、共同調理場のアレルギー室や洗浄室等を増築、老朽化してきた機器の更新、自校の配送受入プラットフォームの設置等が

必要となっている。共同調理場の増築については、令和4年度に設計委託を行い、新設中学校の工事の遅れや設計の見直し等が生じたため、令和5年12月より工事着工している。また、老朽化してきた機器については、不具合の多いもの等を優先し、令和4年度と5年度に分けて更新を行い、給食用食器や食缶等については、令和5年度より計画的に更新・購入していく。

物価高騰に伴う給食費の見直しについては、値上がり分を保護者負担にすることなく、公費によって補填できるように予算計上を行う。

【生涯学習課】

第5次津久見市総合計画の基本目標「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」を目指し、市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう生涯学習の環境を整えていきます。また、市内に点在する歴史・文化財資源の保存活用を行うとともに、スポーツ・レクリエーション活動の充実と各文化・スポーツ施設の環境整備、並びに、貴重な地域資源の認知度の向上を目指します。

（青少年の健全育成）

学校・家庭・地域が協働して取り組む「放課後学習クラブ」や「土曜寺子屋つくみ塾」を引き続き行っています。また、公民館は地域住民にとって最も身近な学習拠点というだけでなく、交流の場としても重要な役割を果たしているため、今後も各教室の充実に努めていきます。

（地域文化の伝承と芸術文化活動の充実）

文化振興については、文化協会・観劇会・樫の実会を中心に、優れた文化芸術に少しでも多く触れることができるよう引き続きその鑑賞機会を提供していきます。

地域資源や文化財については、本市の歴史や文化、風土、地域に残る史跡などの普及を図り、学校教育、生涯学習の場などふれあう機会を提供します。また、市内に点在する歴史・文化財資源の保存活用を図るため令和5年度から3か年計画で「津久見市文化財保存活用地域計画」を作成します。

市民会館については、厨房部分の活用方法や今後の対応を迅速に行いながら、施設のより一層の利用促進を図っていきます。

（社会教育の充実）

市民図書館においては、図書の貸出、移動図書館運営、施設維持管理、展示ホールや展示ケースを活用し、各種芸術文化等の展示を開催するなど、利用しやすい図書館づくりを推進します。また、図書館資料のインターネット予約や電子図書館サービスの向上に努めます。

2月10日	土	・第12回 豊後水道 河津桜まつり (～3/3)
2月14日	水	・第156回中学校統合推進会議 ・第二中学校第2学年数学公開授業 授業者 井原教諭
2月15日	木	・戸高育英会からのトリニータチケット寄贈 ・津久見市教育研究協議会評議員会 (千怒小学校) ・ICTプロジェクト会議
2月16日	金	・庁議 ・大分大学教職大学院教育実践研究フォーラム
2月17日	土	・令和5年度1人1台端末を活用したプレゼンテーションコンテスト 準優勝 千怒小学校 「ゲーム・ネット依存を歯磨きで予防する」
2月19日	月	・給食主任・食育担当者会
2月20日	火	・津久見中学校入学説明会 ・第二中学校第3回学校運営協議会
2月21日	水	・第一中学校第3回学校運営協議会
2月22日	木	・令和5年度第3回総括安全衛生会議 ・津久見小学校総合的な学習発表会「津久見の良さを伝え隊」
2月23日	金	天皇誕生日
2月26日	月	・令和6年第1回市議会定例会開会
2月27日	火	・令和5年度第13回校長会議 ・教育相談コーディネーター連絡協議会
2月28日	水	・第157回中学校統合推進会議 ・教育委員会定例会

②2月、3月の主な行事予定について

2月29日	木	・第4期津久見市地域福祉計画 第3回策定委員会
3月1日	金	・保戸島中学校卒業証書授与式 ・第一中学校卒業証書授与式 ・津久見高校卒業証書授与式
3月2日	土	・第二中学校卒業証書授与式 ・公民館まつり
3月3日	日	・公民館まつり
3月4日	月	・令和5年度第12回教頭会議
3月5日	火	・第1回定例会一般質問
3月6日	水	・第1回定例会一般質問
3月7日	木	・第1回定例会社会文教建設常任委員会 ・就学児情報交換会 ・体育主任会議
3月8日	金	・第1回定例会予算委員会
3月11日	月	・第1回定例会予算委員会
3月12日	火	・第3回学力向上推進PT会議
3月13日	水	・第158回中学校統合推進会議 ・総合教育会議 ・津久見市奨学生選考委員会
3月14日	木	・津久見市学力向上会議
3月18日	月	・社会教育委員会議
3月19日	火	・令和6年第1回定例会閉会
3月20日	水	春分の日
3月21日	木	・第3回文化財保存活用地域計画作成協議会
3月22日	金	・小学校卒業証書授与式
3月23日	土	・第21回九州中学校選抜軟式野球大会（佐賀市 さがみどりの森球場） ～24日（日） 津久見市立津久見中学校合同チーム 参加者 監督等3名 選手25名
3月25日	月	・教育委員会定例会
3月26日	火	・令和5年度 修了式
3月29日	金	・第一中学校、第二中学校閉校式 ・離任式 ・退職者辞令交付式

(4) その他

①次回の委員会開催日程について

(5) 閉 会